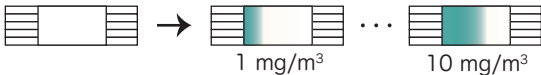


DT20

キヌクリジルベンザレート (BZ)



実寸(約10cm)

感度	1 mg/m ³
吸引量	ハンドポンプ 30 回吸引(1 回 100 mL), 自動ポンプ 3 リットル(3L)
色変化	キヌクリジルベンザレートが存在する場合: 白色から緑～青色に変色します。 
反応原理	マルキス[Marquis]試薬(硫酸[sulphuric acid]とホルムアルデヒド[formaldehyde])との反応
解説	検知管は1つの指示層と1つのアンプル(試薬溶液入り)で構成されています。指示層は粉碎ガラスで形成され、その上にグラスウールの層があります。アンプルにはマルキス[Marquis]試薬が含まれています。
検出方法	①検知管の両端を折る。 ②ハンドポンプで30回(1回 100 mL)または自動ポンプで3L 空気を送る。 ③アンプルを割る。 ④よく振り、アンプル内の薬剤を指示層に浸す。 ⑤色の変化を確認する。
選択性	既知の CWA のうち、BZ のみ緑青色となります。 ただし、他の幻覚剤でも反応する可能性があります。たとえば、オピオイド[opiates]は赤～紫色の反応をする可能性があります。芳香族[aromatic] のガス状CWA は、CS剤:黄色、CR 剤:黄色、アダムサイト[adamsite]:赤茶色など、異なる発色をする可能性があります。
干渉性	有機物質の燃焼で煤が存在すると、煤が指示層を黒く変色させる可能性がある。 ベンゼン[benzene]、トルエン[toluene]、キシレン[xylene]などの揮発性の高い芳香族物質は影響しない。
温度	10～50 °C (10 °C以下では加熱が必要)
湿度	空気の相対湿度は10～90 %が最適